

令和2年6月22日

関係各位

近畿へき地教育研究会
会長 松井 徹
第35回近畿へき地教育研究大会和歌山大会
実行委員長 坂本利文

第35回近畿へき地教育研究大会和歌山大会について

平素より本教育研究会の活動についてご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、本年11月12日・13日開催予定しておりました標題の大会につきまして近畿へき地教育研究大会和歌山大会実行委員会より大会内容の変更上申を受け、近畿各府県会長の意見を踏まえ、以下のとおり決定をいたしましたのでお知らせいたします。

1. 開催内容の変更について

- ・第35回近畿へき地教育研究大会和歌山大会を例年の参加型ではなく、紙面発表大会とする。

「和歌山県へき地複式教育研究会からの大会内容の変更上申書より」

2. 事由

- ①近畿各府県より管理職を含む多くの教職員が参集した場合、仮に感染が確認されるような事態が起こると、参加した多くの教職員の自宅待機や隔離、また学校が臨時休校の措置をとらざるを得ない状況が生じる可能性がある。
- ②新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休校措置のため、教育課程を修了するための授業時数の確保が難しく、発表予定校の特色ある研究の推進に費やす時間的余裕がない。
- ③授業数確保のために夏季休業等が極端に短縮され、参加型大会を開催するための準備が十分にできない。

3. 事後の対応

- ①「大会紀要」を編集作成し、近畿へき地教育研究協議会加盟各校へ配布して、研究成果の共有を図る。
- ②「大会紀要」は全国へき地教育研究連盟ホームページに掲載していただく。